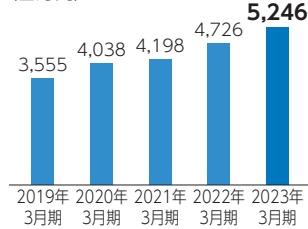


業績ハイライト

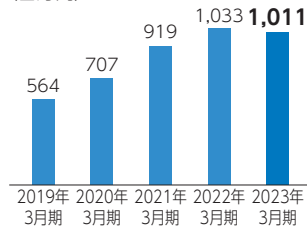
決算のポイント

- 人材の再教育、採用の増加、拠点拡充を中心とした計画外の追加投資を実行。営業利益はほぼ横ばいを確保。
- 投資有価証券評価損を特別損失に計上。繰延税金資産の取り崩し等の「本業外の要因」により、親会社株主に帰属する当期純利益が減少。

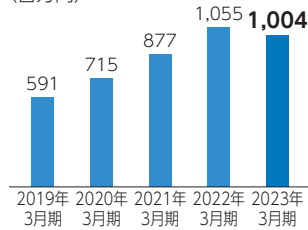
売上高 (百万円)



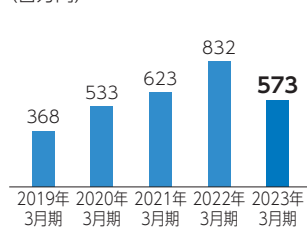
営業利益 (百万円)



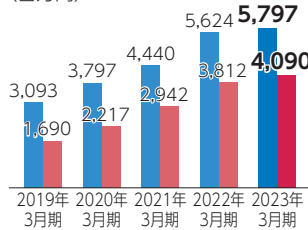
経常利益 (百万円)



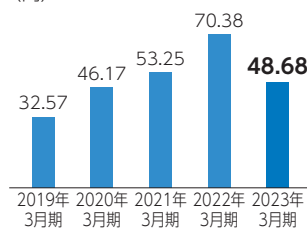
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



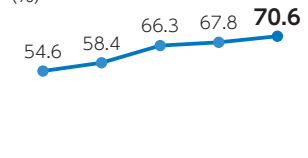
総資産 / 純資産 (百万円)



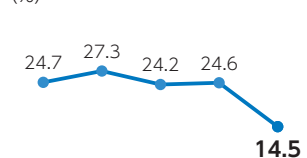
1株当たり当期純利益 (円)



自己資本比率 (%)



ROE (%)



2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期

2019年3月期 2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期

詳細な数値情報はこちら

<https://www.ubicom-hd.com/ja/ir/finance.html>



株主各位

東京都文京区小石川二丁目23番11号
株式会社Ubicomホールディングス
代表取締役社長 青木 正之

第18回定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、2023年6月27日開催の当社第18回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

敬具

記

報告事項

- 第18期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)事業報告、連結計算書類および計算書類の内容報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。
- 会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案

定款一部変更の件
本件は、原案のとおり承認可決されました。

第2号議案

取締役6名選任の件
本件は、原案のとおり取締役役に青木正之、小西彰、石原康裕、橋谷義典、伊藤俊幸の各氏が再選され、齋藤裕子氏が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、橋谷義典、伊藤俊幸、齋藤裕子の各氏は社外取締役であります。

以上

会社の概要 (2023年3月31日現在)

社名 株式会社Ubicomホールディングス
設立 2005年12月8日
資本金 799,706千円
従業員 1,065名(グループ全体)
所在地 [2023年6月30日まで]
〒112-0002 東京都文京区小石川2丁目23番11号 常光ビル9階
[2023年7月1日から]
〒102-0082 東京都千代田区一番町21 一番町東急ビル7F

役員 (2023年6月27日現在)

代表取締役社長	青木 正之	社外取締役	齋藤 裕子
取締役副社長	小西 彰	常勤監査役	松本 一喜
取締役	石原 康裕	社外監査役	大下 泰高
社外取締役	橋谷 義典	社外監査役	森下 志文
社外取締役	伊藤 俊幸		

株式の状況 (2023年3月31日現在)

発行可能株式総数 38,400,000株
発行済株式総数 11,873,840株
株主数 2,947名

株式分布状況 (2023年3月31日現在)



Ubicom Holdings Report

7

Vol.

Ubicomホールディングス レポート
2022年4月1日 ▶ 2023年3月31日

NEWS HIGHLIGHT ニュースハイライト

グローバル事業の拡大に向けた覚書を締結



左から関連会社Alsons/AWS Information Systems, Inc. VP Villanueva、弊社社長 青木、子会社Advanced World Systems, Inc.社長 小西

フィリピン共和国のマルコス大統領の訪日に際して開催されたビジネス協定調印式にIT業界から唯一参加し、日比間経済活動の更なる発展と「Ubicomグループの第2成長フェーズ」の推進に向けた投資の強化に関する覚書を締結いたしました。

AI人材育成やグローバルマーケットを見据えたアライアンスを推進



イスラエル等のテクノロジー先進国企業との開発パートナーシップを推進いたしました。今後も、AIやメディカル等の戦略領域並びにグローバルマーケットを見据えた人材育成とソリューション開発力を強化してまいります。

医師等の働き方改革に資する最上位製品『Mighty QUBE® Hybrid』発表



既に複数の大規模医療機関から受注を獲得し、引き合いも多数いただいております。今後も、医療・ヘルスケアDX時代に即した、導入費用対効果の高い新ソリューションの開発とクロスセリングを強化してまいります。



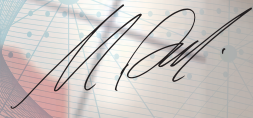
当社ホームページはこちら
<https://www.ubicom-hd.com/ja/index.html>



証券コード：3937

創業以来の引き合い急増を受け、
業績・業容拡大に向けた投資を強化。
世界情勢の動向と軌を一にした
中期成長戦略を実行。

株式会社Ubicomホールディングス
代表取締役社長 青木 正之



**想定を上回る需要を取り込むべく、
開発リソースの強化により事業成長を加速**

最初に2023年3月期の業績についてお伝えします。昨年の秋口から、グローバル事業には既存の企業様、新規企業様からの旺盛な引き合いをいただきました。その大きな外部要因の一つが2022年5月に成立した経済安全保障推進法です。大手企業様、大手SIer様が法の趣旨に沿うよう調達先の見直しを進める中で、30年以上もフィリピン拠点で開発を続けてきた当社に注目が集まりました。この需要の高まりは今後数年にわたって続く可能性が高いことから、『第2成長フェーズ(投資回収フェーズ)』の早期実現に向けて前倒しで投資を行いました。積極的な新規採用や即戦力となる中途採用に加え、高難度のプロジェクトマネジメントを担う人材、顧客が進出する成長市場で必須となる技術に特化した高度人材の獲得・育成という計画外の追加投資を行いました。

2023年3月期は円安・人件費高騰の影響も受けましたが、為替・価格政策も実施し、売上高52億46百万円(前期比11.0%増)、営業利益10億11百万円(同2.1%減)、経常利益10億4百万円(同4.8%減)、親会社株主に帰属する当期純利益5億73百万円(同31.0%減)となりました。この親会社株主に帰属する当期純利益の減少は「本業外」の要因が大きい一方、「本業」を示す売上高は増収基調が継続し、営業利益は追加投資をこなして前年と同水準を確保しました。

次にセグメントごとの施策をご説明します。まず、グローバル事業では本格化する大型需要に向けた開発リソース拡大への投資を行っています。2024年3月期は年

間で350人以上(従来の2~3倍)の採用を計画しています。また、顧客のピラー化に向け先端技術の再教育やリーダーエンジニア育成も実施しています。さらに、グローバルM&A・出資・業務提携の推進や海外マーケティングの強化、フィリピン拠点の更なる高付加価値化を図ります。

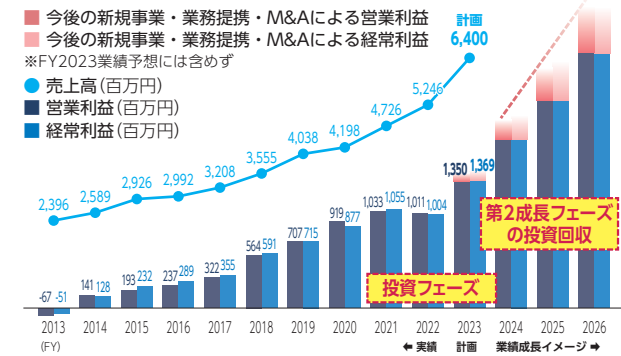
メディカル事業では、医事課向け次世代レセプトチェックシステム「MightyChecker® EX」は、高い作業時間削減効果とコスト削減・収益改善効果が見込めることから順調に導入が進んでいます。ドクター向けオーダーリングチェックソフト「Mighty QUBE®」は、医療の安全と質の向上はもちろん、2024年4月から適用される「医師の働き方改革(労働時間の上限規制)」に対応し、医師の労働時間短縮効果やコスト削減・収益改善効果などが期待できることから高い支持を得ています。また、本格ローンチした最上位モデルの「Mighty QUBE® Hybrid」は、大手公的医療機関を中心とした受注拡大を見込んでいます。さらに、新規ユーザーに対しては、顧客生涯価値の向上を目標に、導入費用対効果に基づいた新価格の適用を順次開始しており、長期目線で収益基盤を高めていきます。生損保向け新ソリューション「保険ナレッジプラットフォーム」は生保市場約50社中7社と商談中であり、Mightyシリーズに次ぐ将来の「新たなサブスク型の収益源」の確保が期待できます。

**社会課題の解決に資する事業を軸に、
持続的な相互発展と満足度の向上に取り組む**

当社グループはサステナビリティを積極的に推進しています。グローバル事業ではDXを通じたお客様の業務改

決算ハイライト(連結)

第2成長フェーズのテーマ ・メディカル領域
・ピラー顧客+20社
・グローバルマーケット
・サステナビリティ **×M&A**



革とグローバル化を支援しています。メディカル事業では、医師の働き方改革・医療ヘルスケアDXなどを通じた医療安全と質の向上、医療機関の経営・業務改善に貢献しています。当社内では人的資本経営推進の一環として、この度女性役員を登用しました。また、『第2成長フェーズ』の原動力である従業員に対しては本社を移転しより働きやすい環境を整えることでエンゲージメントを高めます。

株主様への還元につきましては、当社の成長への自信を持って増配を行いました。引き続き、世界情勢と軌を一にして中期的視点のもと成長戦略を実行してまいります。株主様におかれましては、当社の更なる成長にご期待いただき、ご支援のほどよろしく願いいたします。

サステナビリティに関する取り組み

- DX支援**
 - ITの2025年問題:金融領域を中心とした老朽化したレガシーシステムの更改・運用・保守案件を通じたDX支援
- 人材教育**
 - 受注拡大を見据えた約50名のリーダーエンジニア教育
 - AIを中心とした先端技術教育
- 医療課題への取り組み**
 - 医師の働き方改革と医療安全に資する最上位製品「Mighty QUBE® Hybrid」の提供開始
- ダイバーシティ推進**
 - 女性社外取締役の登用
- レジリエンス経営**
 - 本社移転によるBCP(事業継続計画)の強化、従業員エンゲージメントの向上
 - 為替リスクへの対応

決算資料はこちら
<https://www.ubicom-hd.com/ja/ir/library/result.html>

